

①地方発イノベーション創出環境の構築事業

		福岡市交付対象事業経費			
目的	理化学研究所や九州大学などの知的資源、技術シーズを活用し、産業界やスタートアップを巻き込んだ地域のオープンイノベーションを推進する。	30年度	19,876	千円	
		31年度	20,948	千円	
実施主体	福岡市	担当	経済観光文化局創業・立地推進部 産学連携課	事業期間	H29n-H31n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	<p>1 ネットワーク形成に向けた活動 産学官金連携でイノベーション創出を推進する「ふくおか産学共創コンソーシアム」において、モノづくり・研究開発に係る技術セミナーや、大学等の研究成果を産業界へ橋渡しするためのフォーラムを開催。金融機関との連携により、同フォーラムにおいて、企業向けの支援施策や取り組み紹介を実施。また、組織や業種の垣根を越えて交流・連携できる環境をつくるため、県内、九州・山口地域の高度な分析機器・技術を有する機関との連携や展示会等への出展、大学等研究機関・企業に属する方との定期交流会を開催。</p> <p>2 企業ニーズの収集や大学等シーズの発信活動 企業の技術的な課題について、専門的知識を有するコンサルタントがその解決を支援するよろず相談対応を行うことにより、企業の潜在的課題や分析ニーズ等を収集。理化学研究所や九州大学などの知的資源、技術シーズを広く発信するため、大学等研究機関主催のワークショップ等を開催。</p>				
	指標内容	H30n目標	H30n実績	達成率	
KPI	技術・製品の改良中・実用化件数（件）	18	30	166.7%	
KPI	よろず相談対応件数（件）	210	322	153.3%	
KPI	産学共同研究開発に資する開発資金等獲得のための提案件数（件）	7	7	100.0%	
補足					

②福岡市・九州離島広域連携事業

			福岡市交付対象事業経費			
目的	<p>対馬市，壱岐市，五島市，新上五島町，屋久島町は福岡市と直行便が就航しているものの，認知度が低いため，急増する来福観光客が各離島を訪問する状況に至っていない。また，福岡市としては，多様化する旅行者のニーズに応じるため，新たな観光資源を提供していく必要がある。そこで，福岡市と各離島が連携し，福岡市と各離島をパッケージにした旅行商品の開発，福岡市と各離島を巡る新たな周遊コースのPR等を行い，インバウンド及び国内旅行者の流入による交流人口の拡大，地域創生の人材育成やまちづくりに繋げる。</p>		30年度	10,712 千円		
			31年度	10,000 千円		
実施主体	壱岐市（代表），福岡市，対馬市，五島市，新上五島町，屋久島町	担当	経済観光文化局観光コンベンション部 観光ブランド・クルーズ課		事業期間	H29n-H31n
実施内容	<p>【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】</p> <p>1 広域観光戦略策定等業務</p> <p>(1) 戦略策定組織の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光分野等における専門家，交通事業者，各市町で構成される戦略策定組織を運営。 <p>(2) 人材育成，受入環境整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> 各離島の観光関係事業者等を着地型観光人材として育成。 ※新上五島町でのツアー催行を通して，旅行商品造成のスキルを養った。 各離島在住のライター経験者を各島の情報発信人材として育成。 ※専門家による技術的指導を通して，各島の特集記事を作成し，公式HPに掲載。 交通事業者等と連携し，各社HPにRe島HPバナーを設置する等，誘客促進を図った。 台湾の観光に関する専門家や台湾旅行社を招請し，各島の受入環境の状況等を調査。 各離島の受入体制強化のため，宿泊事業者を対象に，宿泊予約サイトへの登録支援を実施。 <p>2 国内旅行商品造成等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内の宿泊予約サイトにおいて，Re島プロジェクト専用プランを販売。併せて，特設ページの開設やWeb広告配信等による販促プロモーションを実施し，利用者増を図った。 離島への訪問が減少する冬季から行楽シーズンに向けた，首都圏等からの誘客促進プロモーションを実施。 <p>3 海外プロモーション推進等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国，香港，韓国を対象に，現地旅行社やメディア等を招請し，旅行商品造成や販促プロモーションを実施。併せて，知名度向上を目的とした各離島の魅力発信に取り組んだ。 <p>4 公式ホームページ運営等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトとしての機能強化やHPのアクセス向上対策等を実施。 					
		指標内容	H30n目標	H30n実績	達成率	
KPI		離島航空路・航路利用者数（福岡からの直行便のみの降客数，1月～12月）（人）	585,200	579,403	99.0%	
KPI		外国人延宿泊者数（福岡市を除く，1月～12月）（人）	159,400	227,523	142.7%	
KPI		本事業で造成する旅行商品（福岡経由または福岡発離島行き）の利用者数（人）	800	2,996	374.5%	
補足	外国人延宿泊者数については，屋久島町の実績値が10月確定のため，見込値を掲載するもの。					

③大規模国際スポーツ大会を契機としたスポーツの振興及び地域の活性化

		福岡市交付対象事業経費		
目的	世界規模のスポーツ大会を開催することにより、イベント開催ノウハウおよび来訪者の消費喚起ノウハウを習得して、新たな大会の招致と経済波及効果の最大化に繋げるとともに、大規模国際スポーツ大会を契機としたスポーツの振興と地域の活性化を県内全域に波及させる。	30年度	54,853	千円
		31年度	—	千円
実施主体	福岡県（代表）、福岡市	担当	市民局スポーツ推進部課長 (ラグビーワールドカップ2019担当)	
		事業期間	H28n-H30n	
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】			
	事業推進を目的として福岡県と福岡市が平成29年度に共同で設置したラグビーワールドカップ2019福岡開催推進委員会事務局において、以下の事業を実施。			
	1 大会開催準備事業			
	(1) 各種実施計画の策定、リハーサルの実施 交通輸送実施計画、ファンゾーン運営計画を策定するとともに、リハーサルとしてJR博多駅前広場で福岡ラグビーファンゾーン2018を、ラグビートップリーグの試合でパークアンドライドの試行を含む交通輸送・警備をそれぞれ実施。			
	(2) シティドレッシングの実施 天神地区、博多駅地区、その他の箇所複数期間にシティドレッシングを実施。			
	2 気運醸成事業			
	(1) カウントダウンイベントの開催 開催500日前イベント、開催1年前イベント、ニューイヤーイベントを実施。			
	(2) パブリックビューイングの開催 日本代表テストマッチ、シックスネーションズ等計7試合のパブリックビューイングを実施。			
	(3) 大会までのカウントダウン開始 福岡県庁行政棟及び福岡市役所1階ロビーにカウントダウンボードを設置。			
	(4) ラグビーワールドカップラッピングバス運行開始 平成30年9月から令和元年10月末まで市内5エリアで5台のラッピングバスを運行。			
(5) 開催都市特別サポーターの委嘱 福岡出身の著名なタレント・ミュージシャン2名に特別サポーターを委嘱。				
(6) 九州開催3都市合同での気運醸成事業 九州開催都市である熊本、大分両県と合同で、福岡ソフトバンクホークス主催試合において大会の盛り上げ、PRを実施。				
(7) 福岡フューチャーセッション活動の推進 参加メンバーを広く県民から募り、大会の成功に向けたアイデアを出し合うセッションを実施。				
(8) 企画展の開催 福岡県庁11階「福岡よかもんひろば」及び九州国立博物館で企画展を開催。				
(9) 各種イベントでの大会PRおよび気運醸成 県内で行なわれた各種イベントにおいて、ラグビーワールドカップの大会PRと気運醸成を実施。				
3 広報事業				
(1) 海外プロモーション事業 福岡で試合が開催されるフランス、多数の誘客が期待できる香港、オーストラリアにおいて、関係団体と連携してPR活動を実施。				
(2) 公式SNS (Facebook, Twitter) による情報発信				
(3) その他広報の取組み 有料・無料媒体への広告掲出、商業施設内でのポスター掲出やPR映像上映、タクシーへのPRステッカー貼付などを実施。				
4 ラグビー普及事業				
(1) アジアラグビー交流フェスタ アジア地域のラグビーの健全な普及・発展を目的に、アジア各国と国内から招致した中学生チーム16チームを対象に、講習会や交流試合など各種交流事業を実施。				
(2) ラグビー体験事業 (公財) 日本ラグビーフットボール協会等と連携し、県内の小学校6校でラグビー体験授業を実施。				
(3) ラグビークリニックの開催 九州産業大学女子ラグビー部の協力のもと現役ラグビー選手によるラグビー教室を開催。				
(4) アジア太平洋子ども会議イン福岡におけるタグラグビー交流事業 「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」事業と連携し、タグラグビー教室を実施。				
	指標内容	H29n目標	H29n実績	達成率
KPI	キャンプの受入やホストシティ・タウンの取組みを行う市町村数 (件)	13	14	107.7%
KPI	福岡県身体障がい者体育大会の登録者数 (人)	831	707	85.1%
KPI	NP0・ボランティアと県との協働事業数 (事業)	186	187	100.5%
補足	H30n実績については、R1年9月 (予定) の福岡県総合計画審議会にて報告されるもの。			

④アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業

			福岡市交付対象事業経費		
目的	健康寿命の延伸を図るとともに、保健福祉医療分野の新たなサービスを創出する仕組みを構築し、超高齢社会に対応した活力ある都市づくりを進める。		30年度	94,639 千円	
			31年度	140,284 千円	
実施主体	福岡市（代表）、糸島市	担当	保健福祉局総務企画部政策推進課	事業期間	H28n-H32n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（先駆タイプ）】				
	1 「福岡100」の推進 人生100年時代を見据えた持続可能な健寿社会のモデル構築を目指し、社会的ニーズや効果が高い事業をリーディング事業として実施。				
	2 福岡ヘルスラボ運営 健康づくり・介護予防に関する産学官民による共働・共創の場「福岡ヘルス・ラボ」を運営。				
	3 認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及 認知症の家族を介護されている方や専門職、市民などを対象としたユマニチュード講座を実施。				
	4 超高齢社会対応検討（アラカンフェスタ） 60歳前後の世代を中心とした、必要な情報や人に出合えるイベント「アラカンフェスタ」の開催などにより、アクティブエイジングを推進。				
	5 アクティブシニアの就業支援 元気シニアが社会の支え手として活躍する場を増やすため、事務職雇用開拓の強化等により、高齢者の就業・創業を、関係機関と連携・協力しながら促進する。				
	6 地域との協働による移動支援モデル事業 高齢者の買い物などの支援に取り組む地域団体等に、車両を貸し出すモデル事業を実施。				
7 健康・社会参加インセンティブ制度検討 健康づくりや社会参加活動に取り組む高齢者などを応援するためのインセンティブ制度の導入について検討。					
指標内容			H30n目標	H30n実績	達成率
KPI	活躍シニア数（人）		330	199	60.3%
KPI	行動変容した市民数（人）		15,000	22,711	151.4%
KPI	新たな事業創出数（事業）		7	15	214.3%
KPI	海外展開する事業者数（事業）		1	0	0.0%
補足					